

羅針盤

介護福祉士

らしんばん

No.60 (No.18)

平成 25 年 10 月発行

一般社団法人岡山県介護福祉士会

〒 700-0813

岡山市北区石関町 2-1

岡山県総合福祉会館 5 階

TEL : 086-222-3125

印刷編集協力 : 友野印刷



えがお

「ええなあ」

車いすを寄贈いただきました。記念の写真を撮ろうとしていたら、3月までアルバイトで働いていた元学生さんが遊びに来てくれました。「天気もええなあ、久しぶりに若もんの顔も見れた、車いすも新しい。全部ええなあ。」散歩に行って外の風に当たりますか。玄関でパチリ、97歳の嬉しい笑顔をいただきました。

岡山地区 安達悦子

平成25年度 一般社団法人岡山県介護福祉士会



第10回 介護実践研究発表会



平成25年6月1日（土）10：00～16：10

岡山県立大学学部共通棟（南）8206大講義室にて、第10回介護実践研究発表会が開催されました。

助言者として岡山県立大学 保健福祉部 保健学科 教授 谷口敏代氏と社会福祉法人鶯園 特別養護老人ホーム千寿荘 施設長 小泉立志氏をお迎えし助言をいただきました。

発表は11題ありました。参加施設は在宅介護支援センター、特別養護老人ホーム、病院、ヘルパーステーション、老人保健施設、通所介護事業所と多岐にわたっていました。中でも昨年の養成校の卒業生の発表もあり、新鮮に聞くことができました。

次に岡山県介護福祉士会の調査研究部会から「現任介護福祉士に対する意識調査報告」と岡山県立大学 教授 谷口敏代氏より「介護福祉士の働き方と離職傾向・介護福祉現場のヒヤリハットについて」報告がありました。

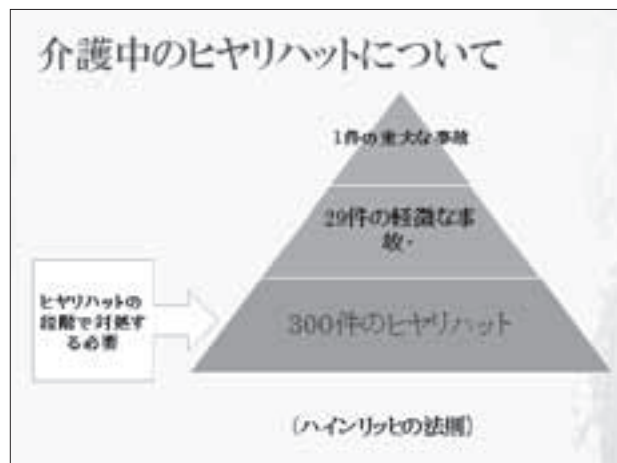
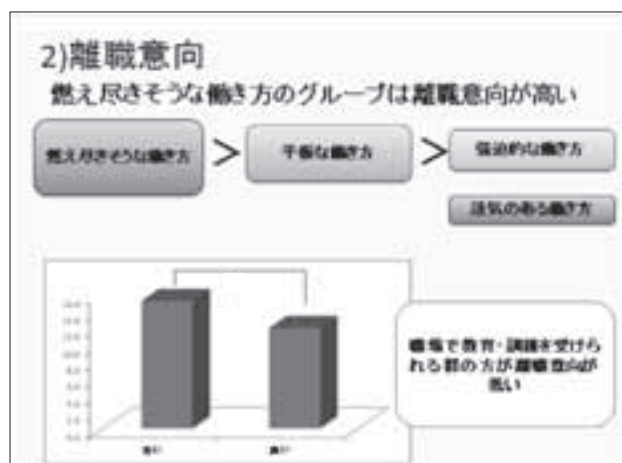
続いてフランス・デンマーク施設見学報告が有料老人ホームの安達氏よりありました。



優勝者
デイサービスセンターみもこころ
嶋田由美さん

発表終了後、当日の参加者により投票が行われ、優勝は【デイサービスセンターみもこころ】の発表した『自立支援の取り組み～その人らしい生活のためのプログラム～』でした。

パワーポイントより抜粋



3月に卒業し現場で働いている3名の方に発表を終えての感想をうかがいました。



【発表しての感想】

現在、倉敷市内にある老健で働いています。

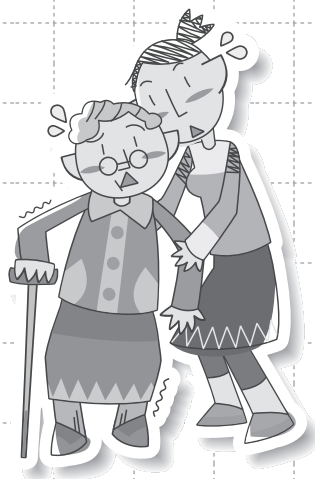
まとめ方の反省点や発表内容を、もっと詳しく説明することなど、多くの反省点がみつかりました。多くの助言を頂けたので、今後はより良い学びを行っていきたいと思います。

様々な発表を聞き、新しい視点やより良い援助について深く考えさせられることが多くありました。

【将来どんな介護福祉士になりたいですか】

その人らしい生活を支援できる介護福祉士になりたいです。

新見公立短期大学地域福祉学科 卒業
大枝 万友



【発表しての感想】

とても緊張しましたが、良い経験となりました。

自分の考え、意見を発言する機会を持つことが出来、これから専門職として、実際に研究内容を実践していければと思います。

【将来どんな介護福祉士になりたいですか】

ご利用者様の立場になって物事が考えられる介護福祉士になりたいです。

大切な人生・生活の一部となる仕事なので、ご利用者様のご意見など聞き入れ、尊敬の念を持ち続けケアしていくことが出来ればと思います。

現在は、就職先で懸命に頑張っています。

新見公立短期大学地域福祉学科 卒業
藤本 詩穂

【発表しての感想】

緊張しました。しかし、発表について意見・感想を頂く事で、新しい発見や再認識を行えたと思いました。

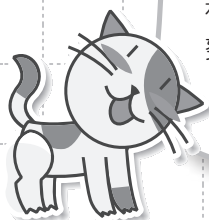
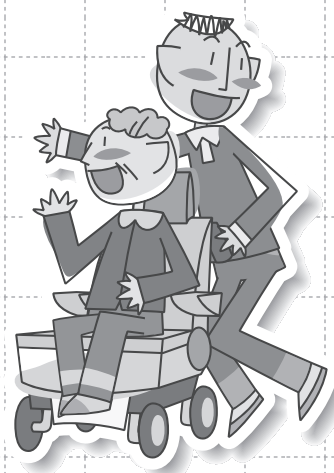
良い経験を得られたと思います。

【将来どんな介護福祉士になりたいですか】

私は、利用者の心と身体双方を支え、その人らしく生きて頂けるよう支援していきたいです。

そのためには、介護に必要な知識、技術、倫理観、また、利用者の人生（物語り）を理解し関わっていけるよう、日々努力していきます。

旭川荘厚生専門学院介護福祉科 卒業
倉上 誠



委員会活動報告

～総務委員会～

美作地区

総務委員会参加者の感想

美作地区で役員を務め1年半が経ちます。役割は広報です。

総務部会に参加してみて各地区の役員の方の話を聞くと同じ問題をかかえていることがわかりました。会員の減少は大きな問題です。しかし自分がそうだったように役員の大変さはやってみて知ることができます。一人一人の積極的な参加が今後の介護福祉士会を盛り上げていくものだと思います。
(美作地区役員 豊田 健一)



総社地区

日時：平成25年8月9日13：30～16：00
会場：総社市総合福祉センター

検討事項

1. 岡山県補助事業について
2. 介護フェアについて
3. 事務局備品（パソコン）について
4. 国家試験模擬試験及び対策講座について
5. 介護協から全国大会（広島）でのシンポジスト派遣依頼
6. その他

報告事項

1. 日本介護福祉士会会長会報告
2. 初任者研修会報告
3. 賛助会について
4. 実習指導者講習会について
5. 平成25年度会員入会状況
6. 事務局人事について
7. 全国大会発表者選出について

報告その他

1. 各地区報告
2. その他報告事項

総務委員会参加者の感想

出席者総務委員7名、ハレルヤ隊2名、地区役員7名の参加がありました。各地区の研修の報告など行い自己紹介を交えて交流も出来、緊張も少しずつ解け最後には地区のPRも出来ました。役員を始めた頃は不安でしたが年を増すごとに今まで知らなかった事を勉強することが出来、あっという間に4年目になり良い経験をさせて頂き感謝

しています。会員も目標100人達成できてよかったです。

(高梁・総社地区役員 小田上 美保子)



今年度には代議員が任期満了となります。次期の代議員選挙が行われます。

中堅職員研修会 高口光子氏 シリーズ 第2回

テーマ「新人教育の指導とポイント」

～スタッフの能力を学歴や勤続年数のみで評価しないために～

日時：平成25年7月6日（土）10：00～16：00

会場は(株)JA岡山で参加者64人でした。その中から3人の方に感想を聞いてみました。



高口先生の講演を聴かせて頂くと、なぜか元気が出ます。もう一つ介護福祉士として、またはリーダーとして何をしなければならないのかが、具体的に見えてくるように思います。

面接の時から始まっていて一人前になるまでを流れとして説明くださり、自施設でもとりいれることが出来ると感じることが出来、早速施設長に報告をしました。

まずは、業務を覚えることを第一とし、次のステップへの展開に委員会を活用し、プリセプター方式を取り入れ今いる中堅職員を育てる考え方になるほどと思いました。

その他にも、1回目の講義でもそうだったのですが、すごくリアルで状況が手に取るようにわかる先生の経験談が何より参考になり記憶に残りました。

最後に、先生の言葉で、「誰でもできると言われている介護の仕事でお金をもらうという事は…」どういうことなのか、真剣に考えチームとして連続してその人を支え、リーダーとしてチームの未熟な部分を他人や物のせいにならず、自分の問題としてとらえ仕事していこうと思いました。

(特別養護老人ホーム グランデパール 大塚教生)

私達が日々、実際現場で行っている事の振り返りや確認すべき点、又、目からウロコの内容が多く、とても充実した一日を過ごさせて頂きました。

中でも『言う、聞く、伝える、分かち合う、それこそが育成そのものである』『職員の人数は変化しない。その中で質の向上を考えると、人材育成なくしては変化しない』『人を育てることから自分も成長していく』など、先生の一言一言が、リーダーとして自覚し、己も磨けよと言われているように感じ、身が引きしめる思いがしました。

先生から『老いて死んで行く人による価値は、出会った人により変わる』とも伺いました。老いてもなお自分らしく生活し、あなた達に出会えてよかったと言って頂けるケアができるよう、人材育成をしていかななくてはいけないと感じました。また、人が人に関わる仕事には心がなくてはならないと日々感じ接しています。今回の講義より、仕事としてプロと成長する以上に、人として成長する大切さを感じました。

(特別養護老人ホーム ホテルの里 鷺尾良江)

新人職員が育つ流れを、入職前の初回面接から行い、新人研修の内容から実施時期、プリセプターによる教育指導、アセスメントのポイントやフォローについて学ぶことができました。色々な場面の事例を聞くことで、具体的で分かりやすい内容でした。

そして私の施設が行っている新人研修の不十分さを再認識することが出来ました。

私の施設の職員（新人・先輩・リーダー・役職）の人数配分だけで、どんな施設が言い当てられたときには本当にびっくりしましたが、これからどこにポイントをおいて人材育成を行っていく必要があるかを教えていただけてとても良かったです。

新人職員だけでなく、全職員の人材育成の大切さ重要性を知り、利用者様に、最後にこの施設でよかったと思ってもらえるように、プロ意識をもった職員の育成をがんばっていききたいと思います。

(特別養護老人ホーム クリーンコム 土井美砂)



初任者研修

平成25年度より本研修のカリキュラムが変わりました。

日本介護福祉士会生涯研修制度にもある本研修ですが、岡山では9つのカリキュラムを県介護福祉士会を含め各地区にて開催いたします。

スケジュールにつきましては、決定次第、随時お知らせいたします。

平成25年度 初任者研修会開催スケジュール

カリキュラム	研修時間	H 25 年度 担当地区	開催内容
1 介護福祉士の専門性と職業倫理	2	井笠地区	開催日：平成 25 年 6 月 18 日（火）
2 介護福祉士の法律と関連する制度政策 1 介護福祉士の資格制度成立まで 2 社団法人日本介護福祉士会の設立に向けて、取り組みと職能団体の役割 3 法律上定められた介護福祉士の位置づけと義務について 4 介護福祉士と社会保障の関連制度	1	県介護福祉士会	開催日：平成 25 年 8 月 2 日（金）
3 介護福祉士の仕事とコミュニケーション・コミュニケーション技術	1.5	美作地区	開催日：未 定 ※ 内容が決定次第、お知らせいたします。
4 介護福祉士の基本的態度	1	新見地区	開催日：平成 25 年 11 月中 18：30～開催予定 ※ 内容が決定次第、お知らせいたします。
5 介護福祉士のための介護技術 1 よりよい介護を目指した介護技術 2 移動の介助 3 食事の介助 4 排泄の介助 5 緊急時の対応	1.5 2 1 1 0.5	岡山地区 倉敷地区 (合同開催)	開催日：平成 26 年 1 月開催予定 ※ 内容が決定次第、お知らせいたします。
6 介護過程の展開	5	県介護福祉士会	開催日：平成 25 年 8 月 2 日（金）
7 記録と報告	1.5 (演習)	東備地区	開催日：平成 25 年 11 月開催予定 ※ 内容が決定次第、お知らせいたします。
8 介護福祉士のための医学知識	1.5	高梁・総社地区	開催日：平成 25 年 9 月 6 日（金）
9 福祉用具の意義と活用	1.5 (実技)	真庭地区	開催日：平成 25 年 12 月開催予定 ※ 内容が決定次第、お知らせいたします。
合 計	21		

介護福祉士の専門性と職業倫理

■担当／井笠地区 ■日時／平成25年6月18日（火）18：30～20：30 ■場所／笠岡認知症研修センター 炉端の家



平成25年6月18日（火）笠岡認知症研修センター 炉端の家にて、(株)ドルフィンエイド 施設管理者 馬越民恵氏を講師に迎え「介護倫理と専門性」と題して研修会を開催しました。会員、非会員合わせて22名の参加がありました。日々介護現場で業務に従事しながら専門職としての自覚、倫理観



に基づいたサービスの提供ができているのかを客観的に振り返り、気づき力を改善策につなげられる実践者になること、初任者から中堅職員への成長を促すことを目的とする内容で、わかりやすく話をして下さいました。

（報告：中濱 匡美）

日本介護福祉社会生涯研修体系を改定

日本介護福祉士では、認定介護福祉士（仮称）制度の検討が進んだことを受け、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に認定介護福祉士（仮称）を位置づけることを目的として改定を行いました。

日本介護福祉士会生涯研修体系は、介護福祉士のキャリア形成の方向性について、認定介護福祉士（仮称）検討の際に提示された「技術志向」「教育・指導志向」「管理志向」の三つの方向性と同期をとった上で、すべての会員が望むキャリア形成に寄与することを目的として構築されました。

生涯研修体系の基本となる流れは、初めに「初任者研修」及び「ファーストステップ研修」があり、その後「認定介護福祉士（仮称）研修」の第1段階相当の研修としました。

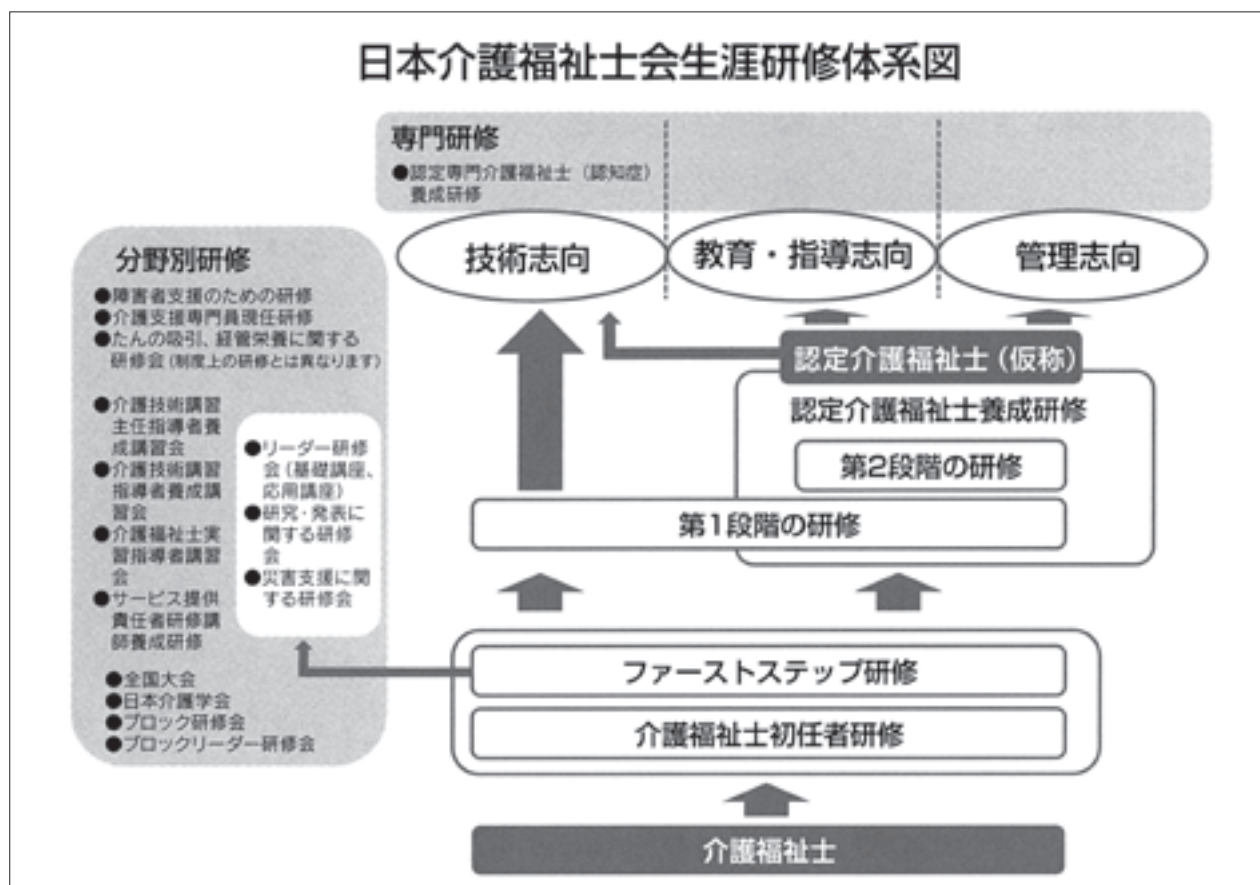
「初任者研修」及び「ファーストステップ研修」は介護福祉士としての十分な力をつけることを目的として構築されており、特に「ファーストステップ研修」は介護福祉士として求められる知識や考え方が身につく有益な研修であると考えています。

※認定介護福祉士（仮称）制度は現在も検討が進められており、その研修の在り方が変更される可能性があります。

そのため、今後も日本介護福祉士会生涯研修体系が修正される場合があります。

※「認定介護福祉士養成研修」及び「ファーストステップ研修」は日本介護福祉士会独自の研修ではなく、全ての介護福祉士が一定の要件のもと受講できる研修です。しかし、介護福祉士のキャリア形成に有益な研修であるため、日本介護福祉士会生涯研修体系の中に位置づけました。

公益社団法人 日本介護福祉士会ニュース Vol.117より抜粋



平成25年度 介護技術基礎講習会

日 時：平成 25 年 9 月 18 日（水）
10：00～16：30
会 場：岡山県総合福祉会館

この研修会は社会福祉施設における介護サービスの質と向上を図るため、各施設の介護職員に対し介護の基礎を確認し、より高い専門性を求めることを目的に行われています。介護技術指導員の方の指導のもとに、参加者18名が講義と演習を通して熱心に学びあいました。



参加者の方から 感想を伺いました。

- 問1 この研修に参加しようと思ったきっかけは何ですか？
問2 参加してみてどのような学びがありましたか？
問3 その他、何でも…

- 問1 施設から、こんな研修があるから
1年目の自分にぴったりよということで。
問2 話しかけ方や表情など、利用者からよく見
られているということ。力まかせの介護を
していたけど、楽な体の使い方を学べて良
かった。 (井笠地区 妹尾 恵)



- 問1 基本動作の再所得
新人教育に取り入れるため
問2 中途半端であった知識が少し間違っていた
部分もあり、今一度きちんとした内容が学
べて良かった。

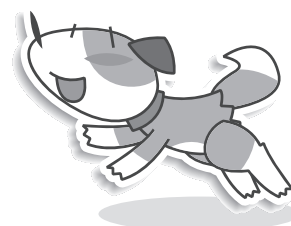
(倉敷地区 山本 式子)

- 問1 基本的な移乗・移動の介助を学びたいと思った事と役
割・コミュニケーションを勉強したいと思ったため。
移動介助など、すぐ役立つ情報を得る事ができた。
問2 本日の学びの集大成としての場面を想定した演習は緊
張したが楽しみながら行うことができた。

(岡山地区 谷口 由加理)



時 間	内 容
10：00	介護職員の専門性と役割
11：00	コミュニケーション
12：00	休憩
13：00	ボディメカニクスの理解 移乗・移動の介助
16：30	終了



青年隊「晴れる家“ハレルヤ”」活動報告！

25年度最初の活動報告です。

今年度は各地区のバリアフリーについて検証しながら“晴れる家”の交流を深めて行こう！
という事で活動を開始しました。



5月17日

今回は和気の藤公園へ行ってみました。

藤の見頃は4月下旬～5月上旬なので残念ながら綺麗な花を見ることはできませんでしたが、天候には恵まれ車イスを持参してのバリアフリーの検証は行いました。



まずはトイレの確認！

スロープもあり、男子トイレ、女子トイレの間に障害者用のトイレもありました。



公園内は車イスでも十分に見学が可能です、木の根や坂道になっている所もあるので介助には注意が必要です。

屋根付きの休憩所もあるので休みながらゆっくりと見学をすれば楽しめるのではないのでしょうか。今回8名での参加でしたが藤公園に初めて来たのが7名、みなそれぞれに今度は綺麗な花が見られる頃に来てみたいと言っていました。



みんなの広場

ほっとステーション



思わぬ所での、ひと声に 元気 いただき！

ゴールデンウィークに、主人と2人で和気の藤公園に行ってきました。

その日は長船駅近くで、スリランカ人の作るカレーを食べて、和気の楽器店にコードハーブを引き取りに行きました。その楽器店の主人が、藤公園の招待状を下さり、渋滞なく行ける地図を書いて下さったので「せっかくだからと…」行ってみました。(実は私、1月末に退職し仕事探し中で、少々気が滅入っていました。)

駐車場入り口に『藤の花、只今、6分咲き』

「6分じゃねえ…」と思いつつ歩いて行くと、遠目からも分かる藤棚、6分咲きならではの閑かな美しさ。花に見とれながら参道を行くと「あら、泉谷さん、ここまで来れたん。楽しんで行ってね。私、家がこの近くなのよ。」と、事務局の方が声をかけて下さった。そのひと声は、私の心を晴れやかにし、次の仕事

(ケアマネ)をあきらめずに探そうとファイトが出てきました。(でも、いつも目立たぬよう、地味に地味に生きているのに、なぜあの人混みの中でわかったのでしょうか。今度から、サングラスにマスクと帽子で顔をかくして…)ともあれ、事務局の方からのひと声、嬉しかったです。私も人に元気を与えられる、さり気ないひと声かけられる、そんな出会いを大切にしていこうと思いました。

(倉敷地区 泉谷 光代)



ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの日々のやりとりを教えてください。同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、そんな情報をお待ちしています。



編集担当

岡山県介護福祉士会
広報委員会

安達 悦子	土屋 教子
戸澤奈津子	荻野 明弘
小林 貴子	頓宮 美樹
中井 愛	小田上美保子
中濱 匡美	山根 寿子
池本 誠	小山 政典